

お子さんも伸び伸び  
大切な家族を守る  
健康、安全、安心の我が家



お子さんも伸び伸びと遊べる広々としたリビング。壁に3つ並んだガラスブロックはネットで取り寄せたお気に入り。光に輝いておしゃれな雰囲気を演出します。入り口のアーチはRの角度にもこだわりが。

Aさんご夫婦が自分たちの家づくりを考え始めたのは、お子さんの誕生がきっかけでした。「周りに気がねすることなく、伸び伸びと遊ばせて子育てしたいそんな思いでした。利府の住宅展示場を訪れた際、ヨーロッパ風の外観に引かれてAヴィエスホームのモデルハウスへ。いろいろな家を見て「これだ」といった決め手が見つからなかったのですが、もみの木の床は一目惚れでした」とご主人。家の中に入って、新建材などの匂いがしなかったことに気がついたお二人に、担当スタッフがもみの木のことや、家族の健康を一番に考えた家であることなどを説明。ご主人は「その家づくりにかける熱い思いと人柄に引かれました」といいます。

ご主人の言葉にうなずきながら、設計の打ち合わせのときも私たちの細かな要望を丁寧に聞いて応えてくれましたね。子育て世代が多い土地を探してくれたのも良かったです」と奥さま。2010年12月に入居。「住み心地や使い勝手にも不満はないですね。何と云ってもいつも木の温もりを感じられるし、床に味わいがあると遊びに来た友人たちにも好評なんです」とうれい言葉を頂きました。

次世代の住まい  
CASE 33  
宮城県仙台市  
Aさんの家  
取材日/2012年12月



子供部屋はあえて梁を見せ、雰囲気のある大空間にしました。将来は成長にあわせて2部屋に仕切ることもできる造りです。

Aさんとの出会いは、三年前の二月の寒い日だったと思います。ご長男は当時六ヶ月でした。今ではすっかりしたお兄ちゃんになっていてびっくりしています。Aさんの家づくりのテーマは「子育ての家の家」でしたので、ご家族の健康、そして、使う素材の違いで住まいの環境が変わるということ、モミの床のお話をしたと思います。その後、建築地を見つけてお手伝いをさせて頂いて、現在の場所を安住の地として決めて頂きました。間取りは、解放感と使いやすい生活動線をテーマにご提案致しましたが、ご近所のある外観のデザインにマッチングさせるところが少し難しかったです。でも、Aさんから現在とても満足頂いているというお言葉を頂戴し、営業担当として逆に感動を頂きました。ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。

担当より一言

営業 小宮

家族が心からくつろげる、健康で安全な家建てたかったとご主人。昨年の東日本大地震でもほとんど損傷がなく、東京から査定に来た保険の検査員の方に「ここまで丈夫な家はあまり見た事がない」と言われたそう。「地震に強い家」を再認識できたそうです。



入居から2年。もみの木の床も少しずつ味わい深い色合いに。  
耐震性を高めるために入れたリビングとダイニングの間の壁。「広々とした空間を仕切るのは残念と思ったけど、結果的に便利でした」と奥さま。パソコンコーナーの裏側にはチェストを置いて活用しています。



ゆったりスペースの明るいダイニングでは家族の会話も弾みます。  
奥さまのご希望で木の温もりあふれるキッチンに。吊り戸棚も付けて収納たっぷり。  
畳の周りぐるりと配したもみの木の床や、光差し込むガラスブロックで、和室と呼びながらも「和」ではない雰囲気を演出。



リビングから続くウッドデッキ。開放感あるセカンドリビングとして気候のいい季節にはランチやバーベキューを楽しんでいます。



CASE33:宮城県仙台市 Aさんのお宅  
家族構成:夫・妻 長男 長女  
延べ床面積:37坪 部屋3LDK  
こだわり設備:もみの木の床 スピンオフ壁



天気気にせず干せるランドリールーム。約3.7畳の広さ。



階段の段差にあわせて配した窓はインテリアだけでなく外観のアクセントにもなっています。



やわらかな色調の深緑の大屋根はお二人のこだわり。

